

(令和2年4月1日版)

川越市立川越高等学校の部活動に係る活動方針

1 目的

部活動は、学校教育の一環として実施する教育活動であり、生徒にとって豊かな学校生活を経験する有意義な活動であるとともに、スポーツや文化に親しみ、学習意欲の向上や責任感・連帯感の涵養、互いに協力し合って友情を深めるといった好ましい人間関係の形成を図る活動である。

市立川越高等学校の部活動は、生徒一人ひとりの興味関心に沿った幅広い活動の中で、技術・体力・精神力を磨きながら、仲間と目標に向かって活動することで、協調性やコミュニケーション力の育成を図ることを目的とする。

2 本校部活動の目標

1) 本年度設置する部活動について

運動部 14 部、文化部 18 部、同好会 1 部を設け、顧問教師 1 名以上をおく。

2) 目標

- ・部活動をとおして、逞しく粘り強い精神と体力、豊かな感性を養成し、好ましい人間関係を図る。
- ・部活動をとおして、礼儀・挨拶・清掃等社会に出て役立つ態度や習慣を育成する。
- ・運動部及び文化部等の自主的・主体的で活発な活動を促し、学校全体の活性化を図る。

3) 活動日及び活動時間について

①週当たりの休養日の設定

- ・少なくとも週 1 日以上休養日を設定する（詳細は各部活動の活動計画による）。

※大会参加等によりやむを得ず休養日を確保できない場合は、代替休養日を確保する。

※公式大会等 4 週間前については、生徒が休養できるよう配慮をしながら実施することができる。

②長期休業中の休養日の設定

- ・学期中の休養日の設定に準ずる（詳細は各部活動の活動計画による）。

③活動時間

- ・各部活動の特性を活かしながら効率的な練習を目指し、平日の活動は、生徒が安全に帰宅できる時間内で行うこと。なお、活動は必ず顧問の指導のもと行う。
- ・休日（長期休業中を含む）の活動については各部の活動計画による。

- 他校との合同練習や練習試合、校外施設を利用した活動についても、学校長の許可を得て、保護者の承諾が得られなければ活動時間については柔軟に対応することができる。
- 定期考査1週間前より、部活動は原則活動休止とする。但し、大会が近い等やむを得ず休止できない場合は、生徒の学習計画を確認するなどの指導を行いながら活動することができる。

※学校長の許可を得て、保護者の承諾が得られれば活動時間について柔軟に対応できる。

④その他

- 「シーズン期」と「オフシーズン期」の活動にメリハリをつけ、生徒のモチベーションの維持に努める。
- 専門的な指導を求める生徒や保護者のニーズに応えると共に、教職員の指導力向上に努める。また、外部指導者を活用する。
- 部活動における事故防止については、生徒の健康状態・安全管理・天候（熱中症等）に十分配慮する。また、部活動間の連携を取りながら、お互いがサポートできる体制をつくる。